



日本書紀巻一間書

| | |
|-------|---|
| 名称 | 御調八幡宮文書 |
| よみがな | みつきはちまんぐうもんじょ |
| 指定 | 市指定 |
| 種別 | 重要文化財 |
| 種類 | 古文書 |
| 所在地 | 八幡町 |
| 所有者 | 御調八幡宮 |
| 指定年月日 | 昭和 56 年(1981)10 月 21 日 |
| 構造形式 | 書冊 紙本墨書 |
| 法量・員数 | 日本書紀巻一間書 1 冊 25.0cm×16.5cm 卷子 紙本墨書 八幡大菩薩縁起 2 巻 上巻 32.0cm×2000.0cm 下巻 32.0cm×1235.5cm 備後八幡宮大菩薩畧縁起写 1 巻 29.0cm×100.0cm |
| 時代 | 室町時代 |
| 公開状況 | 事前連絡が必要 |
| 交通案内 | JR三原駅から北へ約 14km |

【解説】

日本書紀^{まきいちききがき}巻一間書は、日本書紀を真言宗の立場より解釈したものです。良遍の口述したものを頼舜が筆記し、奥書に応永 26 年(1419)8 月 17 日薩摩国宍口房と記してあります。

八幡大菩薩^{えんぎ}縁起は、代表的な八幡宮縁起絵巻で、別に「八幡菩薩御縁起」という詞だけの写本があり、その奥書に永禄 9 年(1566)に書写されたとあります。

備後八幡宮大菩薩^{りやくえんぎうつし}畧縁起写は、建暦 2 年(1212)に三宅貞時、応永 13 年(1406)和気経直、天文 4 年(1535)和気高尚、貞享元年(1684)宍算、享保 19 年(1734)宍秀と引き継いで書写したものです。